◇　1　【明治25年３月15日第三種郵便物認可】　信濃毎日新聞　2005年（平成17年）4月25日（月曜日）

電車脱線25人死亡

兵庫のＪＲ線

マンションに激突・大破

けが200人超　救助作業続く

二十五日午前九時十八分ごろ、兵庫県尼崎市潮江四丁目のＪＲ福知山線の尼崎―塚口間の踏切付近で、宝塚発同志社前行きの快速電車（七両編成、乗客乗員約五百八十人）が脱線、線路脇の駐車場に突っ込んで乗用車と衝突して転覆。さらに先頭車両がマンションに激突した。

尼崎市消防局によると、男女二十五人が死亡。重軽傷を負った人は二百二十人を超えた。同消防局などが救助に当たっている。

乗客によると、電車は事故直前に手前の伊丹駅を数十㍍オーバーランし、バックして停車。遅れを取り戻すかのように普段よりかなり速度を上げ走行していたという。

兵庫県警は午前九時五十分、突発重大事案対策本部を設置。死傷者数の集約を急ぐとともに、事故原因などを調べている。

電車は女性専用車両を含む前三両が脱線、マンション一階部分にめり込むような状態で大破した。

ＪＲ西日本によると、電車は現場を時速約七十㌔で通過していた。

現場はＪＲ尼崎駅の北西約一㌔。近くには中央卸売市場や工場などが点在している。

ＪＲ西日本　社長が謝罪

ＪＲ西日本の垣内剛社長は二十五日記者会見し、福知山線の事故について「鉄道事業者として非常に申し訳ない気持ちでいっぱいだ」と謝罪した。

号外

線路脇のマンションに激突し大破したＪＲ快速電車＝25日午前10時８分、兵庫県尼崎市

先頭車両　壁にめりこむ

マンションに激突、壁にめり込むようにして大きくひしゃげた先頭車両。血まみれで横たわる乗客。二十五日朝、兵庫県尼崎市のＪＲ福知山線で発生した脱線転覆事故。現場では悲鳴と救急隊員などの怒声が交錯、近所の住民も加わり、懸命の救出作業が続いた。

先頭車両はくの字形に曲がり、原形をとどめていない。屋根にははしごが何本もかけられ、警察官や消防隊員が中を必死にのぞき込み、取り残された乗客を捜した。救急隊員は屋根から大声で作業の指示を飛ばした。

二両目と三両目も線路から大きくはみ出ている。青いビニールシートが敷かれ、ぼうぜんとした負傷者数十人が横たわっている。付近の住民もフェンスをこじあけ、車両に取り残された負傷者の救助を手伝った。

線路脇の鉄工所に勤める男性（五六）は「ジェット機が落ちたような音がした。事故直後は、マンションは黒い煙に覆われていた」と、興奮した様子で話した。

マンションは三年前に完成した分譲で九階建て。六階に住む主婦（六三）は「部屋でくつろいでいたら、ドーンと爆発のような音がした。衝突した北西側とは離れていたので揺れなかったが、ガス爆発かと思った」。

廊下に出ると、一階側から土煙が上がっており、慌てて地上に降り事故を知ったという。

「電車から次々とけがをしたお客さんが運び出され、顔や頭、足から血を流している人が横になり、救急車を待っていた。電車はぐちゃぐちゃ、まさかこんな事故が起こるなんて」と声を震わせた。

信濃毎日新聞
1873年（明治６年）創刊
発行所
信濃毎日新聞社
長野本社　〒380-8546
長野市南県町　657番地
電話(026)
受付 236-3000　編集 236-3111
販売 236-3310　広告 236-3333
松本本社　〒399-8711
松本市宮田　2番10号
電話(0263)　編集 25-2151
販売・広告・事業 25-2153